

図書館情報センター館長挨拶

図書館情報センター 館長
大野栄人



館長に就任して5年目を迎えます。大学という教育・研究機関に置いて、図書館情報センターは、人間の身体でいえば心臓部に当たります。果して、大学の心臓部としての役割や機能を果たしているのか、自問自答を繰り返す日々です。

現在、図書館情報センターの「理念と目標」は、小委員会・運営委員会において検討中ですが、図書館情報センターは、教育・研究に不可欠な図書資料等を体系的に収集・整理・保存して、学術情報を蓄積し、利用者に必要な情報を提供するという役割を担っております。蓄積された情報を教職員や学生ひいては地域・社会にも発信して、個々の学問的関心を高揚していただきたいと念願しております。そのために、様々な取り組みを実施しております。とくに学生の皆様に利用してもらうために、春学期・秋学期を通して、新入生や2~3年生を対象にした図書館授業オリエンテーションを実施し、利用方法について具体的な指導をしております。また2年生以上の学生の皆様が、書庫オリエンテーションに申し込んで出席してもらえれば、常時、書庫に入庫することができます。参加される方は、毎年、増えつづけております。

20年度より、図書館情報センター所蔵の貴重資料の電子化にも取り組んでおります。全国の曹洞宗寺院にも図書資料の貸し出しを実施しており、多くの寺院が利用されています。また1階のリフレッシュコーナーに限り、試験的に飲み物の持ち込みを許可いたしました。ルールが正しく守られ好評です。さらに、昨年10月より、1階の事務室を地下1階に移転し、図書館情報センターの事務室は、すべて地下1階に統合されました。業務を円滑に運営することができるようになりました。

今年度より、図書館情報センターのカウンター業務一切の業務委託会社を変更いたしました。より充実したカウンター業務を遂行していただけるものと期待しております。

今年度も学習・教育支援のため様々なことを実施していきます。今日、データベースの経費がかかり過ぎ、図書資料を一切購入できない学部が増えております。図書予算にも踏み込んで抜本的な検討をしていきたいと考えております。

利用していただく皆様のことを第一に考え、利用しやすい図書館にするため、全館員が一丸となって取り組んでいきたいと存じます。どうか、教職員や学生の皆様の暖かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。